

いよいよ、「しまの大学」の講座が始まります。

1. 第1回から3回までのテーマ、その後、第2回目の終わりに、フリートーキングの中から次のテーマを選択します。
2. 香りがテーマになっていますので、授業中は、香りを楽しみながら、進めます。
12回の講座では全て、健康に素晴らしい、料理講座も1品入れていきます。

第1回目は、コーヒーを生豆から焙煎しながら味わいます。

誰でも美味しくできるコーヒー焙煎

当日は、キリマンジャロの生豆を焙煎します。

磁性鍋と電子レンジ、コーヒーミルとその他の用意をお願いします。

第2回目では、地元の特産品をより美味しく食べる。

絶品ひじきの炊き方

大豆を煎り、ひじきを炊きます。

ひじきの用意と調味料の用意もお願いします。

大豆は持参します。

第3回目からは、**地元の食材、コブミカン**からテーマを探します。

都会の人々が求める上島への期待料理は？

「しまの大学」

香りから癒しの上島へ

第一回講座 2011年5月28日

しまの大学のテーマとした要因は？ その1

*キリマンジャロのコーヒーの生豆を焙煎し、香りと味覚を楽しみ、フリーディスカッションから問題点の共通認識とその解決を探る

1. 上島の人々が持たれている問題点や課題とその解決手段は？

問題点（アンケート調査から）

交通機関、船便の減少

*尾道～弓削便の廃止

大きな医療機関が無い、

*尾道地域への医療依存患者さんの課題

人口の減少、若い人たちの働き場の不足

*年間約100名の死亡に対して新生児は平均7名

買い物が不便、物が揃わない、遊びの場が不足

その他、イノシシの被害

2. 限界集落、離島の活性化の道は存在するのか？

成功事例と失敗事例から学ぶ

失敗事例、岡山県赤磐郡赤坂町で始めた「炊飯工場」

岡山県「農業公園」構想とその事業

北海道由仁町「町全体公園構想」

その他

成功事例、徳島県勝浦群上勝町の「彩り野菜」

3. 京都工芸繊維大学に「未利用資源有効活用研究センター」を設立した理由

"摘み菜"のすばらしさ

香りから癒しの上島へ

第2回講座 2011年6月25日

しまの大学のテーマにした要因は、その2

*上島の味覚、ひじきと炒り豆を煮付けながら、健康な食材の調理とフリーディスカッションから新たな活性化のテーマを探る

上島町の現状を再認識しよう

天候、土壌の環境、耕作面積、人口、歴史、
上島の産業の歴史、

日本人が造り出した産業構造を振り返る

日本人の強さは何か
現在の産業界を支えている最先端産業は
衰退した産業と持続している産業の違いを知る
衰退した地域並びに産業が安定し持続している地域を見る
都市の脆弱さと産業の関係

地域活性化と地域の商品

地域の活性化は、商品の開発よりも地域の人々が文化を創り出す工夫からスタートする。
地域の人々の活性化は、新たな生活のリズムから生まれるシステムによって、蘇る。

上島の特長を生かした商品は存在しているのか？

青い檸檬
檸檬豚
その他

上島の地域活性として期待できる商品開発は？

アイランドセラピーの基地としての上島

香りから癒しの上島へ

第3回講座 2011年7月23日

*コブミカンの香りを利用し夏に免疫力を付ける調理とフリーディスカッションから
上島の問題点を探る

「アイランドセラピー」の基地として上島に求められる課題

アイランドセラピーとは、

アロマセラピー、森林セラピー、そして、アイランドセラピーとして新たに社会に発信で
きる特長

アイランドセラピー基地、上島は、島の人たちに、新たな生活のリズムが生まれるのか、
生活のリズムから期待できる新たな生活文化とそのシステムとは!!